

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	① 汚染水貯蔵(タンク等)
御提案件名	汚染水貯蔵タンク 解体物等の再利用
御提案者	三菱重工業株式会社
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者等)</p> <p>① 特徴</p> <p>汚染水タンクへのリプレイスを実施することにより、大量の解体物が放射性金属廃棄物として発生する。本提案は、これらの金属廃棄物を再利用することにより、解体物の減容化を図るものである。本提案の特徴を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体物を、放射性廃棄物の保管容器等(*)に作り替え、サイト内で再利用する。これにより、解体物の減容化を図る。(*)デブリ取り出し作業に必要となるであろう金属遮へい体へ作り替える案もある。) ・容器製造技術としては、金属スクラップからの再利用技術として一般産業で広く用いられている電炉を用いた鑄造技術を採用。 ・解体物発生量／保管容器必要量ならびに処理期間を合理的に設定し、設備のコンパクト化を図る。 ・鑄造時の従事者被ばく低減ならびに放射性物質放出量低減の観点から、解体時には、除染を実施するものとする。 ・また、環境への放出放射エネルギー低減の観点から、排ガス処理設備を設置。 <p>② 仕様</p> <p>溶解方式: 電炉(高周波誘導式)</p> <p>③ 性能</p> <p>性能(設備容量)については、解体物発生量と保管容器必要量ならびに処理期間を基に設定。</p> <p>④ 保有者</p> <p>弊社では、各種原子力関連機器及び一般産業用機器の製作に関し、自社工場にて鑄込から最終加工までを実施しており、鑄造に関するノウハウを蓄積・保有。</p> <p>2. 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) 金属スクラップの鑄造により、各種原子力関連機器等の製作実績有り。 ・開発・実用化に向けた課題・留意点 金属溶融時の核種挙動と排ガス処理系での DF 確認。耐火材の補修/交換方法検討 ・その他 (特許等を保有している場合の参照情報等) 	